

# 線形代数学第2 - 中間試験問題 -

電子情報学類1年生(1組)

平成22年度後期 - 2010.11.24 -

1. 曲線  $y = C + Dt^2$  で3点  $(t, y) = (0, 1), (1, 2), (2, 4)$  を近似するとき, 誤差の二乗和を最小にするように  $C, D$  を求めよ.  $y, C, D, t$  はスカラーである.
2. 以下の問に答えよ.
  - (a) 2次元空間における直線  $y = 2x$  上で, 座標  $(-1, 2)$  に最も近い点(座標)を求めよ.
  - (b) 3次元空間における平面  $x - y + z = 0$  上で, 座標  $(1, 1, 1)$  に最も近い点(座標)を求めよ.
3. 以下の問に答えよ.
  - (a) 線形独立なベクトル  $\mathbf{a}_1 = [1, 0, 1]^T, \mathbf{a}_2 = [0, 1, 1]^T, \mathbf{a}_3 = [1, 1, -1]^T$  を互いに直交するベクトル  $\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2, \mathbf{v}_3$  に変換せよ.
  - (b)  $\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2, \mathbf{v}_3$  が互いに直交することを確かめよ.
  - (c)  $\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2, \mathbf{v}_3$  をノルムが1であるベクトル  $\mathbf{q}_1, \mathbf{q}_2, \mathbf{q}_3$  に変換せよ.
  - (d)  $\mathbf{q}_1, \mathbf{q}_2, \mathbf{q}_3$  を列ベクトルとする行列  $Q$  を求め, ベクトル  $\mathbf{x} = [1, 0, -1]$  に対して,  $\|Q\mathbf{x}\| = \|\mathbf{x}\|$  となることを示せ.
4. 行列式の定義(1)~(3)に基づいて, 行列の性質(a)~(d)を証明せよ.

<行列式の定義>

  - (1) 行列式は行列の要素の積の和である.
  - (2) 一つの積は, 行列の全ての行及び列から1個の要素を選択して構成される.
  - (3) 積には符号が付けられる. $\sigma$ 番目の積の符号を  $sign(\sigma)$  と表す. この積を  $a_{1,\sigma(1)}a_{2,\sigma(2)}\cdots a_{n,\sigma(n)}$  と表したとき,  $\sigma = [\sigma(1), \sigma(2), \dots, \sigma(n)]$  を奇数回の入れ替えで  $[1, 2, \dots, n]$  に変換できる場合は  $sign(\sigma) = -1$ , 偶数回の場合は  $sign(\sigma) = 1$  である.

<行列式の性質>

  - (a) 行列式は一つの行に関して線形である.
  - (b) 対角行列の行列式は対角要素の積である.
  - (c) 行を入れ替えると行列式の符号(正負)が変わる.
  - (d) 零の行(一つの行の要素が全て零)を含む行列の行列式は零である.
5.  $4 \times 4$  行列の行列式を要素の積(=項)に展開すると何個の項があるか. また,  $a_{13} = 0$  とすると何個の項が減少するか.
6. 行列  $A$  は各行の要素の和が零であるとき,  $\det A = 0$  となることを示せ(ヒント)  $\mathbf{x} = [1, 1, \dots, 1]^T$  に対する  $A\mathbf{x}$  がどのように表されるか考える.
7. 行列  $A, B, C, D$  の行列式を求めよ. 行列の性質1~10, または行列式の適当な公式を用いて計算する.

$$A = \begin{bmatrix} 1 & 0 & 2 & -1 \\ -1 & 5 & 0 & 2 \\ -1 & 0 & -2 & 1 \\ 0 & -1 & 3 & 2 \end{bmatrix} \quad B = \begin{bmatrix} 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 3 & 2 & 0 \\ -1 & -4 & -3 & -1 \\ 2 & 2 & 4 & 2 \end{bmatrix} \quad C = \begin{bmatrix} 2 & 0 & 0 & 0 \\ -4 & 3 & 0 & 0 \\ 0 & 2 & -1 & 0 \\ -2 & 0 & 5 & -1 \end{bmatrix} \quad D = \begin{bmatrix} 1 & 0 & -2 & 1 \\ 1 & -1 & 0 & 2 \\ -2 & 0 & 1 & 2 \\ -1 & 2 & 1 & 0 \end{bmatrix}$$

8. 次の行列  $A$  の逆行列を  $adj A / \det A$  により求めよ.

$$A = \begin{bmatrix} 1 & -1 & 0 \\ -1 & 2 & 1 \\ 3 & 1 & 2 \end{bmatrix}$$